理工系STEM女子応援事業【神奈川県横浜市】

個別事業費 1,051 壬円 交付金額 525 千円

地域の実情と課題

理工系学部を設置している横浜市内の大学における女子 学生比率は2割弱(横浜市調べ(R3時点))となっており、 依然として理工系分野を進路に選択する女子学生が少な い状況である。理工系分野の女性人材の増加に向けては、

進路や職業選択を行う前段階において、理工系分野への

関心を高める取組を行うことが重要である。

ム及び関東学院大学の協力を得て実施した。

目的 目標

- 学生の理工系分野進路選択の支援
- ・保護者・教員の理解促進

事業の特徴

企業で活躍している女性技術者(3名)や理工系分野を学 ぶ大学生(1名)から、進路選択決定にあたってのポイント や、実際に企業で働くことについて話を聞くことができるセ ミナーを開催した。実施に当たっては、女性技術者同士の 交流や相互研修などに取り組む日本女性技術者フォーラ

連携団体

- 登壇者の選定)
- 関東学院大学(登壇者の推薦)

事業の効果

事後アンケートでは、「参加前より興味がわいた・理工系へ 進みたい」・「参加前と変わらず興味がある・理工系へ進み たい」と答えた人は75%となり、イベントを通じて理工系分 野への興味関心を高めることができた。

今後の課題

事業内容の見直しにより本セミナーについては今年度 で終了するが、引き続き他事業を通じて理工系分野へ の興味関心を高められるよう普及・啓発を行っていくこ とが必要である。

・日本女性技術者フォーラム(事業の企画・実施の連携、

事業の概要

●実施概要

概 要:中高生や保護者・教員等も対象に、企業で活躍する女性技術者と理工系大学生によるパネ ルトークを

行うセミナーを開催し、進路決定に当たってのポイントや企業で働くイメージを伝えた。

対 象 者:横浜市内在住・在学の中高生、保護者、教職員等

●参加者のご意見・ご感想

- 子供にとってもイメージがわきやすいエピソードなどがあり、とてもよかった。
- ・社会人の立場で参加させていただきました。楽しく聴講できた。このようなセミナーに初めて参加し、学生向けのメッセージだったが、自分にとってもよい刺激になった。
- 実際に働いている方からの言葉が聞けて参考になった。

●広報チラシ





●当日写真

